

Sporting Regulation 2020



2020年度 マツダファン・サーキットトライアル 競技規定①

1. 大会

マツダファン・サーキットトライアル (MFCIT) は、国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則に準拠した JAF 国内競技規則およびその細則、本サーキットトライアル競技規定、各大会特別規則書、ならびに各サーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを守るとともに各大会オーガナイザーおよび競技役員の手指示に従う義務を負うものとする。

2. 組織

1) 本競技は、ビースポーツ・MFCIT 事務局 (以下 B-Sports) の主管により運営される。各大会オーガナイザーは一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 公認のもと、マツダファン・サーキットトライアルの名称を付したサーキットトライアル競技を組織、開催する。大会組織委員会、競技審査委員会、競技役員は、各大会の特別規則書にて公示される。

2) B-Sports は、シリーズとしての統一性維持およびオーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」を各大会に派遣する場合がある。その際、レースディレクターは大会競技長と協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役務 (義務) は、大会期間中 (参加受付から正式結果発表まで) に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通じた独自の判断に基づく提言を競技長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。ただしレースディレクターは、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を競技長に委譲する。

3. 開催日、開催場所、競技時間

Rd.	開催日	定員	開催場所	競技時間
第1戦 宮城ラウンド	4月11日(土)	80台	スポーツランド SUGO	2 ヒート制 1 本目: 15分 2 本目: 20分
第2戦 大分ラウンド	6月14日(日)	80台	オートポリス	
第3戦 栃木ラウンド	7月12日(日)	80台	ツインリンクもてぎ	
第4戦 茨城ラウンド	9月5日(土)	75台	筑波サーキット	
第5戦 静岡ラウンド	10月17日(土)	90台	富士スピードウェイ	
第6戦 岡山ラウンド	11月21日(土)	100台	岡山国際サーキット	

※開催日、内容は諸事情により変更する場合がある。

※各大会のタイムスケジュールは公式通知にて示す。

4. 参加クラス・車両

1) 本競技会は、車種と改造範囲に応じて35のクラス区分に競技を開催する。

車種	改造範囲	
	NORMAL	TUNED
MAZDA2 D (DJ系以降のMAZDA2&デミオのディーゼル車)	①	②
MAZDA2 G (DJ系以降のMAZDA2&デミオのガソリン車)	③	④
デミオ&ペリヤ・クラシック (上記以前のデミオ&ペリヤ)	⑤	⑥
MAZDA3 D (BP系以降のMAZDA3のディーゼル車)	⑦	⑧
MAZDA3 G (BP系以降のMAZDA3のガソリン車)	⑨	⑩
アクセラ (マツダスピードアクセラを除く)	⑪	⑫
マツダスピードアクセラ	⑬	⑭
MAZDA6 (GJ系以降のMAZDA6&アテンザ)	⑮	⑯
アテンザ・クラシック (上記以前のアテンザ)	⑰	⑱
ロードスター (N0系以降のロードスター)	⑲	⑳
ロードスター・クラシック 2000 (N0系ロードスター)	㉑	㉒
ロードスター・クラシック (上記以前のロードスター)	㉓	㉔
RX-8	㉕	㉖
オープン・ロータリー (RX-8以外のロータリーエンジン車両)	㉗	㉘
オープン 66 (上記以外の第6世代以降のマツダ車)	㉙	㉚
オープン 56 (上記以外の第5世代のマツダ車)	㉛	㉜
オープン・クラシック (上記以外の第4世代以前のマツダ車)	㉝	㉞
クロードス (ライセンス無し/貴典外)	㉟	㊱ (改造範囲区分無し)

※特定の車種別クラスに属さない第6世代 (2012年の「CX-5」から) 以降のマツダ車は、車種「オープン66」クラスに区分される。

※特定の車種別クラスに属さない第5世代 (2002年の「アテンザ」から) のマツダ車は、車種「オープン56」クラスに区分される。

※特定の車種別クラスに属さない第4世代以前のマツダ車は、車種「オープン・クラシック」クラスに区分される。

※JAF 国内競技連盟者許可証を所持していない者、もしくは JAF 国際競技連盟者許可証を所持している者は、車種を問わず「クロードス」クラスに区分される。

※ロータリーエンジンのポート方式を変更した RX-8 は、車種「オープン・ロータリー」の改造範囲 TUNED クラスに区分される。

※「RX-8 マツダスピードバージョン」は車種「RX-8」の改造範囲 NORMAL クラスに区分される。「RX-8 マツダスピードバージョン II」は車種「RX-8」、「ロードスター」は車種「ロードスター・クラシック」、「マツダスピードアテンザ」は車種「アテンザ・クラシック」の改造範囲 TUNED クラスに区分される。

※特定の車種別クラスに属するマツダ車は必ず当該車種クラスで参加しなければならない。ただし、MAZDA Fan CIRCUIT TRIAL 車両規定 4. 参加車両 17) および 18) に該当する場合を除く。

※クラス区分は参加台数に応じて追加、変更、取消する場合がある。

※クラス区分毎の参加台数が 30 台未満の場合は、当該競技の挙行を中止もしくは、サーキットの同時出走可能台数の総数を超えない範囲で差走になる場合がある。

※クラス区分毎の参加台数がサーキットの同時出走可能台数の総数を超えた場合には、走行時間を分けて実施する。

2) 参加車両は、別掲の車両規定に合致した車両でなければならない。

5. 参加資格

1) NORMAL・TUNED クラス
ドライバーは本年度有効な JAF 競技運転者許可証国内 B または国内 A の所持者であること (国際以上の競技運転者許可証の所持者は参加不可)。

2) クロードスクラス
ドライバーは有効な 4 輪運転免許証所持者で主催クラブの会員及び当日のみ有効の準会員 (準会員の登録は参加申込と同時に可) とする。また、本競技への体験参加を目的とし、結果に応じた賞典が授与されないことを承知していること。

3) ドライバーならびにピットクルーは、競技中に有効な保険に加入することを強く推奨する。

4) 未成年の参加者
ドライバーならびにピットクルーが 20 歳未満の場合は、観戦者の承諾を必要とする。

5) 同日開催日に他の競技に重複して参加しないことを強く推奨する。また、重複して参加する場合には、いかなる理由があろうとも本レースとそのスケジュールを最優先に参加することが義務づけられる。

6) 上記の条件を満たした場合でも、B-Sports もしくは各オーガナイザーが MFCIT の参加者に相応しくないと判断した場合、その理由を示すことなく参加申込の拒否を行う。

6. ドライバーおよびチームの遵守事項

1) 本競技会は、走る歓びを譲らぬマツダ車の多くのユーザー、自身のドライビングと愛車のポテンシャルの限界をサーキットで体感してもらうことを開催の趣旨としていることを十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを貫き、スポーツマンシップに則り、楽しく安全に走ることを第一に心掛けること。

2) ドライバー、チームクルー (ゲストを含む) の行動に関して、チームが連帯して責任を負わなければならない。基本的にドライバーとして登録された者をチームの責任者とする。チームの責任者が異なる場合には、当初の責任者より異なる者を指名した旨の委任状を B-Sports へあらかじめ提出しなければならない。

3) 車両検査の立ち会いや、競技中にピット作業エリアやサインガードに立ち入ることができるのは、参加申込時に登録されたチームクルーに限られる。

4) 後続車の走行ラインを意図的に塞いだり、コーナーの極端に手前からインペタ走行を続けたり、供走する相手の走行ラインを残さなかつたり、幅寄せなどで他の参加者を威嚇する走行をしないこと。

5) 意図的に後続車両に進路を譲る際は、自身の走行ラインをウィンカーで示すことを推奨する。その際は、自身が維持したい走行側のウィンカーランプを点灯させること。また、他車に自身の存在を知らせるためのライトオン走行 (ハイビームも含む) は認められる。ライトのバッシングは、前車のペースが明らかで遅く、幻惑行為にならない使用頻度と車間の場合にのみ認められる。

6) 万一、他の車両と接触した場合には、正式競技結果が発表される前に、接触した相手ドライバーと話し合い、互いに遺憾を残さぬよう努力しなければならない。競技中の接触は互いの自己責任とし、その補償を他に求めてはならない。

7. 競技ゼッケン、指定ステッカー、ドライバーの装備品

1) 競技番号は B-Sports が決定し、競技ゼッケンは競技会当日に支給する。競技ゼッケンは公式車両検査までに左右前部ドア (窓への貼付不可) に確実に貼付すること。

2) 参加者は、B-Sports およびオーガナイザーの要請がある場合には広告スペースを提供しなければならない。シリーズボンサーおよびイベントボンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知しなければならない。これに違反した場合にはペナルティを科せられ、正式結果発表後に判明した場合でも、適及して当該大会のシリーズポイントを無効とする。

3) ドライバーは、指の出し耐火炎性または皮製のグローブ、日本工業規格 (JIS) 兼用安全帽の基準 (旧規格の C 種適合品を含む) または SNELL 規格に合致した製造後 10 年以内のヘルメット (2 輪用も可だが、モトクロス用などの特殊ヘルメットは不可)、本綿性または耐火炎性の長袖および長ズボンの服装 (ダブルレイヤー以上のレーシングスーツを強く推奨)、活動的なシューズを履くこと。JAF 国内競技車両規則第 4 編付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従った装備品を整えることを強く推奨する。

8. 参加申込

1) 参加申込は、マツダファン・サーキットトライアル (MFCIT) 公式サイト (<https://circuittrial.mazda-fan.com/>) の WEB レースエントリーから行うこと。

2) 参加料の支払いは、クレジットカードによるオンライン決済、銀行振込とする。銀行振込を選択した場合は、参加申込の意思を表明後 3 日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に支払いを完了しなければならない。銀行振込は下記を指定口座とし、振込手数料は参加者負担とする。

金融機関名: みずほ銀行 店名: 渋谷支店 口座種目: 普通口座
口座番号: 1323717 口座名義: カ) ビースポーツ

※振込名義は参加ドライバー名と同一でなければならない。異なる場合には、B-Sports に対し事前にその旨を伝えるなければならない。

3) 参加申込が成立するは、規定の方法による参加申込の意思表明と、参加料の入金の両方を B-Sports が確認できた時点とする。オーガナイザーが先着申込順で参加受付台数に定員を設ける場合は、参加申込が成立した順とする。

4) 参加申込の意志を表明後、やむを得ずその意志を取り消す場合には、表明後 3 日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に B-Sports まで必ず連絡すること。連絡が無い場合には参加の意思に関わらず参加料金が請求される。

5) 受付期間
各大会とも開催日の 40 日前より 20 日前まで、もしくは各大会オーガナイザーの指定する期間とする。

6) 参加申込書に記入する車両名は 15 文字以内とし、必ず車両名 (車両型式や略称は不可) を含むこと。車両名が正しく含まれていない場合には、B-Sports の判断により車両名を変更するものとし、その変更に対する異議は受け付けられない。

例: OOOロードスター、OOOMA ZDA3、OOORX-8、等

7) 参加申込受付期間の終了後、オーガナイザーで書類審査の上、特に指定がない場合はドライバー宛に正式参加受理書を送付する。

9. 参加料

- 参加料
①NORMAL・TUNED クラス参加料: 22,000 円 (税込/1 エントリーにつき)
②クロードスクラス参加料: 19,800 円 (税込/1 エントリーにつき)
③FHR 割引として、頭部および頸部の保護装置 (FHR システム) を使用する場合には、参加料から 2,000 円を割引する。
④新車割引として、開催日に初度登録年月から 25 か月 (2 年) 以内の車両で参加する場合には、参加料から 1,000 円を割引する。
⑤旧車割引として、開催日に初度登録年月から 120 か月 (10 年) 以上の車両で参加する場合には、参加料から 1,000 円を割引する。
⑥割引制度は参加申込みと同時に自己申告するものとし、後日の請求は認められない。

2) 登録料

- ①ピットクルーは 1 エントリーにつき 3 名まで登録できるが、1 名登録ごとに 2,200 円 (税込) の登録料が別途必要。公式車検はドライバー本人または登録されたピットクルーが受け取ること。
②サービスカーは 1 エントリーにつき 3 台まで登録できるが、1 台登録ごとに 1,100 円 (税込) の登録料が別途必要。サービスカーは指定された場所に駐車すること。
③登録料は参加料と同時に支払わなくてはならない。
④上記以外の同伴者や車両については、各大会で定められた入場料および駐車料が必要となる。

3) 保険料

- ①各大会特別規則に定められている場合はその規定に従うものとし、規定が無い場合は保険の加入は義務付けられない。
②ツインリンクもてぎで開催大会については、もてぎ・鈴鹿 (MS) 共済会 (TRMC-S) もしくは SMSO 会員でない方は、暫定加入としてドライバー: 3,000 円/1 名、ピットクルー: 500 円/1 名) に加入しなければならない。

4) クロードスクラス参加者で JAF 競技連盟者許可証国内 B の取得を希望する場合、以下の費用が追加が必要となる。JAF 家族会員の場合は、競技会当日までに自身で個人会員への切替手続きを行うこと。

JAF 個人会員の方...8,000 円 (税込/規則書代金を含む)

JAF 会員で無い方...14,000 円 (税込/規則書代金を含む)

5) 競技が中止になる場合を除き、一旦支払った参加料ならびに登録料等は返還されない。ただし、競技が中止になったり、定員に漏れる等の理由で参加が受理されなかつたり、本規定 8.4) に規定された期間内に参加を取り消した場合には、返金事務手数料として総支払額の 10% を差し引いた全額が返金される。

10. 参加申込内容の変更手続き

1) ドライバーの変更は認められない。また、その権利を他人に譲渡することも認められない。

2) やむを得ない事情による車両変更は、参加申込をした同クラスについてののみ許され、変更の期限は公式車検開始 30 分前までに指定様式に変更料 (11,000 円) を添えて競技会事務局に届け出、B-Sports の承認を得なければならない。

3) 参加申込書の提出後、ピットクルーやサービスカーの追加は一切できない。ピットクルーの変更は、公式通知に記載された参加受付期間までに指定様式に変更料 (1,100 円/名) を添えて競技会事務局に届け出、B-Sports の承認を得なければならない。

4) 改造申告書の訂正は、公式車検開始 30 分前までに修正が許される。

5) 上記以外の変更は基本的に認められないが、誤訂正については指定様式に訂正料 (11,000 円/1 件) を添えて競技会事務局に届け出、B-Sports の承認を得なければならない。

11. タイヤ本数の制限

1) 1 大会で使用できるタイヤは 4 本までとする。

2) パースト等のやむを得ない理由の場合のみ、競技長の判断により追加使用が許される。それによるペナルティを科せられない。ただし、競技長の許可なくタイヤ交換作業を行った場合には、ペナルティを科せられる。

12. 燃料

1) 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF 国内競技車両規則第 3 編第 1 章第 9 条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている (潤滑油以外のいかなる添加物も含まない) 自動車用無鉛燃料を使用すること。

2) やむを得ない理由で競技長が特に認めた場合を除き、競技中の燃料補給は認められない。競技長の許可なく競技中に燃料補給を行った場合には、ペナルティを科せられる。

3) 第 1 ヒート終了後から第 2 ヒート開始前までの間に給油を行うことは認められる。給油はサーキット内のガソリンスタンドの利用を推奨するが、ガソリン携行缶で作業を行う場合には安全に細心の注意を払うこと。

Sporting Regulation 2020



2020年度 マツダファン・サーキットトライアル 競技規定②

1.3. 競技方法

- 1) 競技は原則として2ヒート行う。ただし、天候等の事情により第1ヒート終了時点で競技を打ち切る場合がある。
- 2) スタートはピットエリアから競技役員誘導によって1台ずつコースインしラップタイムを計測する。
- 3) コースインする順番は、1本目がゼッケンの若い番号順(申告タイムの早い順)とする。2本目は、1本目の走行結果順とする。ただし、走行開始時間を優先とし、整列に間に合わない車両は、この限りではない。
- 4) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット前で停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 5) 各自のピット作業エリアは、基本的にゼッケン順もしくは各オアガナイザーが定める位置とし、それに対する異議は認められない。
- 6) 当該ヒート終了合図(チェッカーフラッグ)後は、フィニッシュライン付近の止むを得ない場合を除き、追い越しを禁止する。チェッカーフラッグの提示を受けた全ての車両は、原則としてコースを1周した後、指定のピットまたはパドックに停車し、そのまま車両保管とする。ガス欠等により周回できなくなった場合には、競技役員指示に従うこと。
- 7) 万一、チェッカーフラッグが不注意その他の理由により規定時間を完了する前に表示された場合でも、競技はその時点で終了したものとみなされる。

1.4. ピット規定

- 1) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット作業エリア前で停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 2) 競技中にピットエリア内での作業は禁止する。競技中にピットエリア内やパドックに車両を進めた場合、走行を止めた時点で終了したものと判定し、同一ヒートでの再出走は認められない。
- 3) ピットレーン通過速度は、各サーキット指定の制限速度に従うものとする。
- 4) 自己のピットエリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された3名までとする。
- 5) 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員許可を得た後、自己のピット要員によって押し戻すことができる(ピット内でのリバースギヤの使用は、厳重に禁止される)。
- 6) 競技中にピットレーンに進入した場合は、ドライブスルーペナルティやペナルティストップを科せられた場合を除き、必ず自己のピットに停車しなければならない。
- 7) ピット作業の場合を除いて、ピット要員がピット作業エリアに立つことを禁止する。
- 8) 競技中は、電動工具、エアーツール、火花を散らす装置や工具、高温を発生する装置や工具のピット内およびピットエリアでの使用を禁止する。
- 9) 競技中は、ピット作業エリアでのタイヤやラジエーター等の冷却のための水・氷等の使用、燃料や油類の補給は禁止される。
- 10) コースへの復帰は競技役員指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。
- 11) 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通話のみ認められる。

1.5. 競技の中断および再スタート

- 1) 事故等によりコースが閉鎖されたり、または天候その他の理由から競技継続が不可能となったために競技を中断する必要がある場合、競技長はコントロールラインにおいて赤旗を表示し、同時に全ての監視ポストでも赤旗が表示される。

- 2) 競技中断の合図と同時に、全車両はただちに停車できるスピードで競技役員指示に従って指定された場所へゆっくりと進まなければならない。
- 3) 競技中断の合図が出される直前に、スタート時刻からの経過時間が当該ヒート時間の30%に満たない場合、競技長は競技会審査委員会と協議のうえ競技を再開することができる。また、30%を満たした場合、当該ヒートは終了したものとみなされる。
- 4) 再スタートの方法は、当規定1.3.「競技方法」に従う。また、中断の合図が出された時点で当該ヒートの残り時間を競技時間とする。

1.6. 旗信号の意味

- 1) 競技会で使用する信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則H項および補助信号機によって行う。

旗の種類	指示内容
赤旗	競技の中止。ドライバーは直ちに速度を落とし、必要に応じ停車できる態勢をとり、ピットレーンに進行すること。追い越し禁止。
黄旗	1本の振動: 速度を落とし、追い越しをしないこと。進路変更する準備をせよ。トラックわき、あるいはトラックの一部に危険箇所がある。ドライバーがスピードを落とすことが明らかでなければならない。これは、ドライバーが、手前で制動したこと、および/またはそのセクターで速度を著しく落とすことを意味する。 2本の振動: 速度を大幅に落とし、追い越しをしないこと。進路変更する、あるいは停止する準備をせよ。トラックが全面的または部分的に塞がれているような危険箇所がある。およびあるいはアンソナルがトラック上あるいは脇で作業中である。ドライバーが有意義なラップタイムを達成しようとしていないことが明らかでなければならない。これは、ドライバーが当該ラップを放棄すべきであることを意味する(次のラップで走路が十分に付いている場合がある)。ピットへ入らなければならないことを意味するものではない。
緑旗	トラックが走行可能(コースクリア)。黄旗区間解除。
赤の縦縞のある黄旗	路面が滑りやすい。
白旗	トラック区間に低速走行車両がある。
青旗	他の競技車両が追い越しを行おうとしている。
黒旗	指示を受けた場合は、次の周回時にピットの指定された場所に停車すること。
オレンジ色の円形のある黒旗	車両に機械的欠陥が生じている。指示を受けたドライバーは、次の周回時に自己のピットに停車すること。
チェッカー旗	競技終了。

- 2) 信号合図に従わない場合は罰則が適用され、この判定に対する抗議は受け付けられない。

1.7. 順位決定

- 1) 第1ヒートまたは第2ヒートの最高ラップタイムのうち速い方を採用し、順位を認定する。
- 2) 2名以上のドライバーが同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。

1.8. 車両保管

- 1) 競技車両は、第1ヒートまたは第2ヒート終了後に当該大会競技役員により車両保管される場合がある。その際には、参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。大会技術委員長から特別に許可を得た場合や、ソフトトップやポネネットのやむを得ない開閉作業を除き、車両保管中は車両には一切手を触れてはならない。
- 2) 競技車両は、公式車検を受けた後は第2ヒート終了後の正式結果発表まで、当該サーキットの場外へ持ち出すことはできない。
- 3) 大会期間中にリタイアした場合、車両を当該サーキットの場外へ持ち出せるのは、リタイア届けの受領後である。

1.9. 車両整備

大会期間中に認められる車両に関する作業は一般公道用途における車両の日常点検整備(脱着を伴う作業を含む)に順ずる以下の内容のみとする。ただし大会技術委員長の許可がある場合はこの限りではない。

- ①エンジンオイル、トランスミッションオイルの点検補充、交換
- ②ブレーキフルード/クラッチフルードの点検補充、交換、エアークリーパー
- ③冷却水、クーラントの点検補充
- ④バッテリーの点検、充電、液の補充
- ⑤エアフィルターの点検、清掃
- ⑥タイヤの点検、エアークリーパー調整
- ⑦ホイールの点検、取り付けの確認。
- ⑧ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液の補充
- ⑨燃料給油
- ⑩競技ゼッケン、各種ステッカーの貼付
- ⑪部品の取り外しを伴わないアライメント調整、車高調整
- ⑫本規定で許されたアクセサリー等の自動車部品の脱着
- ⑬本規定で許されたアクセサリーの停止復旧作業
- ⑭上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃

2.0. 罰則

- 1) 本規則、各大会特別規則および公式通定で定められた規則に対する違反の罰則は、競技会審査委員会が決定し違反者に通告される。
- 2) B-Sports ペナルティ
大会期間中以外でもB-Sports 独自の調査・検査により違反行為があったと判断した場合、前項 2.0.1)の罰則の他に以下のペナルティを科せられる場合がある。このペナルティはB-Sports により通告、公示され、2.0.1)の罰則に追加される場合とB-Sports 独自に執行される場合がある。なお、B-Sports ペナルティにより、各大会で既に決定された競技結果に影響を及ぼされることはない。
①違反者に属するシリーズポイントの減算、失効。違反内容によっては、当該大会以前に獲得したシリーズポイント、ならびに違反車両によって当該大会以前に獲得された他の参加者のシリーズポイントに対してもペナルティを科せられる場合がある。
②違反者およびその関係者に対する、訓戒ならびに以後大会の出場停止。

2.1. 抗議

JAF 国内競技規則 第12条に従って行うことができる。ただし審判員の判定、B-Sports の判定に対する抗議は受け付けられない。

2.2. 賞典

- 1) 大会賞典
①各大会のクラス別賞典は下記の通りとする。
1~3位: トロフィー、JAFメダル、ウィナーズキャップ
4~6位: トロフィー、ウィナーズキャップ
②各大会賞典は、各クラスの出走台数により、賞の制限を行う。入賞は6位を超えない出走台数の50%(端数切捨てとし、1台の場合には大会賞典は用意されない)とする。
③クローズドクラスは賞典外のため、大会賞典は用意されない。
2) ジャパンツアーシリーズ賞
①各大会において、各ドライバーには、クラス別の順位に応じて、下記の表に基づいて順位得点が与えられる。ただし、台数により、順位得点の制限を行う。3台に満たないクラスは50%、8台に満たないクラスは70%に減算する。また、順位認定の対象外や、クローズドクラスのドライバーには得点は与えられない。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位以下
100P	90P	80P	70P	60P	50P	40P	30P	20P	10P

- ②いかなる理由があろうとも、異なる名称のドライバーの得点は合算できない。同一名称であっても、同一人物でなければ得点は合算できない。同一名称・同一人物であれば、車体型式や車体番号が異なる車両、参加クラスの変更があった場合でも、同一ドライバーとしてポイントを集計する。

③各大会において、ドライブスルー・タイム加算・降格以上の罰則を科せられた場合には、1回の罰則につき5点を減算する。ただし、減算は当該大会の得点の点になるまでを限度とする。

④各大会で記録を残したドライバーには、最終終了時点で最も得点が多かった大会に25点が特別得点として加算される。

- ⑤得点集計および順位
・シリーズポイントは、6戦中4戦の有効ポイント制とする。
・複数のドライバーが同一得点を得た場合、最終戦から選んだ総合結果順で順位を決定する。
- ⑥ジャパンツアーシリーズの賞典は下記の通りとする。
1位: マツダカップ、記念写真パネル
2~6位: 記念盾、記念写真パネル
- ⑦シリーズ賞典は、年間の平均出走台数により、賞の制限を行う。入賞は6位を超えない出走台数の50%(端数切捨て)とする。

3) 特別賞

- ①BRIDGESTONE賞(Best NORMAL賞)
NORMALクラスで参加するドライバーを対象として、全クラスを通じて通算獲得ポイントの最上位に、プリチストン社製「POTENZA Adrenalin RE004」を1set 授与する。
- ②Best SKYACTIV-X賞
SKYACTIV-X エンジン搭載車両で参加するドライバーを対象として、全クラスを通じて算獲得ポイントの最上位に、賞典として記念盾、記念写真パネルを授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞の入賞者は除外する。
- ③Best AT賞
オートマチック車両で参加するドライバーを対象として、全クラスを通じて通算獲得ポイントの最上位に、賞典として記念盾と記念写真パネルを授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞の入賞者は除外する。
- ④ベスト・シニア賞
2020年1月1日時点で55歳以上となるドライバーを対象として(ただし、車前に本人が希望されない意志を示した場合には対象外とする)。全クラスを通じて通算獲得ポイントの最上位に、賞典として記念盾、記念写真パネルを授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞ならびに上記の特別賞受賞ドライバーは除外する。
- ⑤ベスト・ミドル賞
2020年1月1日時点で35歳以上54歳以下となるドライバーを対象として(ただし、車前に本人が希望されない意志を示した場合には対象外とする)。全クラスを通じて通算獲得ポイントの最上位に、賞典として記念盾、記念写真パネルを授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞ならびに上記の特別賞受賞ドライバーは除外する。
- ⑥ベスト・ヤング賞
2020年1月1日時点で34歳以下となるドライバーを対象として(ただし、車前に本人が希望されない意志を示した場合には対象外とする)。全クラスを通じて通算獲得ポイントの最上位に、賞典として記念盾、記念写真パネルを授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞ならびに上記の特別賞受賞ドライバーは除外する。

4) レコード賞

各クラスのコースレコードタイムを更新したドライバーには、レコード賞として記念盾を授与する。新規に記録された場合は該当しない。

5) Great MAZZA Circuit Trialist 賞

過去マツダファン・サーキットトライアル(MFCT)およびマツダスピードカップ・サーキットトライアル(MSCT)に連年10年シーズン以上および公式戦30戦以上出走したドライバーに、今シーズンはいずれかの大会に出場した際、その功績を称える賞典として記念盾を授与する。

- 6) 上記賞典の授与が行われる暫定表彰式、正式表彰式、シリーズ表彰式には、ドライバー本人または代理人の出席が義務付けられる。また、式典に出席しない場合には賞典の授与を拒否したとみなすが、各大会の正式競技結果や各賞典対象者の変更はない。

2.3. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、各大会の特別規則書および公式通知により公示される。なお、本規定の変更や解釈はB-Sports プルテンとしてB-Sports より公示される。